

令和6年度飼料生産技術研修会

講演

1) 土壌診断に基づく施肥対応と酪農場における施肥改善

酪農学園大学

教授 三枝 俊哉 氏



2) 気象変動による影響と対策 ～奥羽牧場・岩手牧場の事例～

(独)家畜改良センター岩手牧場業務課
業務専門役 阿閉 恭子



3) 協会の飼料増産に係る取組み (一社)日本草地畜産種子協会

常務理事 元村 聡氏



展示:

- ・イネ科牧草サイレージ(一番草、二番草)
- ・マメ科牧草サイレージ(一番草、二番草)
- ・トウモロコシサイレージ(2種類)

開催日: 令和7年2月19日(水)

場 所: J A 新いわて岩手支所

参加者: 37名

参加者の声

- ・土壌診断の結果を今回の内容と結び付けて、来年度適切な施肥ができるようにしたい。
- ・草地の虫害被害という考えがなかったので、対策について詳しく調べてみたい。
- ・牛の日齢に合わせてどういう管理が必要かよく分かった。

今後期待するテーマ

- | | |
|----------------|-----|
| ・雑草防除技術 | 21人 |
| ・草地更新技術 | 12人 |
| ・繁殖管理技術 | 11人 |
| ・牧草・トウモロコシ栽培技術 | 9人 |
| ・育成・子牛管理技術 | 8人 |

研修会の理解度

